



環の町芳賀 第107回

飼い犬に迷子札を!

1月のとある朝、民家に迷い込んだラブドール君が役場に連れられて来ました。幸いにも、首輪に鑑札が付けられていたので、ラブドール君は無事家に帰ることができました。

「うちの犬は帰ってくる」と思っている人が多いようですが、実は首輪の付いた迷い犬でも、飼い主が判明せず、不幸にも殺処分となるケースが少なくないのです。鑑札や注射済票、迷子札などが付いていれば、助けられた命なのですが…。昨年の狂犬病予防注射時の状況を見ても、注射済票や迷子札を付けている犬はまだまだ少数派です。

そこで、今年度は「飼い犬を家に帰そう」を合言葉に、注射済票や迷子札の装着率アップを図りたいと考えています。狂犬病予防注射を受けさせた人には「迷子札&注射済票ホルダー」(写真)を配布します。簡単に首輪に装着できるものなので、飼い犬に付けてくださるようお願いいたします。

もちろん、迷子札が付いていても、つないで飼うことが義務です。くれぐれも放し飼いなどされませんように。

環境対策課環境対策係

☎028 (677) 6041



4月の休館日
5・12・19・26・30日です。

(芳賀町総合情報館) 知恵の環館だより

スタッフから

「亡くなった祖母が下高根沢出身で、生まれた場所を確認したい」と依頼がありました。番地が不明だったので、詳しい出生地はわかりませんが、町内で暮らしていた証拠が情報館保存の「南高根沢高等小学校学籍簿(大正元年)」にありました。

最近、自分史作成や先祖調べする人が増えていますが、そのような時には情報館にもお問い合わせください。ご相談に応じ、記録や文書を提供いたします。(富田)

総合情報館(知恵の環館)
☎028 (677) 2525

NEW着刊資料

☐一般書
愛しいひと 明野照葉
ナニカアル 桐野夏生
深重の橋 上・下 澤田ふじ子
南の子どもが夜いくところ 恒川光太郎
血戦 ワンス・アポン・ア・タイム・イン・東京 2 恒川光太郎
イム・イン・東京 2 恒川光太郎
☐児童書
はじめまして人間たち 榎 周平
はじめての人間たち きむらゆういち
へんてこりんステキなあいつ 那須正幹
ゆかいな農場 マルセル・エーメ
ぼくがまもってあげるね
マーサ・アレクサンダー
ステラがうんとちいさかったころ
メアリー・ルイズ・ゲイ
ほか多数入荷!ご利用ください。



モア絵本。
温かい、ユー
にへんちゃん
いこちゃん
があげば、つよ

にこちゃんのママのて
あきやまたし教育園
子犬のこちゃんはずごくさみし
がりやで、とってもかわがり。
でも「ママの手」があれば、つよ



か?
はたして公共
事業は悪なの
間を生み出す
得に溺れる人
間に溺れる人
得に溺れる人
得に溺れる人

虚国 香納諒一(小学館)
死にかけた海辺の町に持ち上がった、空港建設計画。それはやがて疲弊する共同体、軽んじられる命、欲得に溺れる人間を生み出す。はたして公共事業は悪なのか?

今月の1冊

工業団地から、こんにちは

芳賀工業団地連絡協議会に登録している企業を紹介します。

協永堂印刷株式会社 栃木事業所

協永堂印刷(株)は、昭和25年にジャーナル社として創業、昭和34年に現在の協永堂印刷(株)を設立しました。「お客様に協力します永遠に」の理念を社名とし、企業向け商業印刷物の制作を主業務としています。

各種マニュアルやカタログ・会社案内・パンフレットなどの制作デザインのほか、動画やCGの制作、工業翻訳などの業務も行っています。

平成20年に栃木事業所を宇都宮市から芳賀工業団地に移転し、新社屋の完成とともに業務を開始しました。

昨年は、創立20周年を迎えた芳賀町工業団地連絡協議会の記念誌発行を担当。会員企業の紹介と工業団地の20年の歩みを映像化したCDの制作、記念誌の



編集や印刷業務に携わりました。お話を伺った藤枝所長は「本年、おかげさまで創立60周年を迎えます。芳賀町に事業所を移転してまだ2年目ですが、町の皆さまにもご期待いただける企業となるよう、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします」と話してくださいました。

会社名 協永堂印刷株式会社
住所 芳賀町芳賀台45 栃木事業所
電話番号 028(677)7533
従業員数 22人
本社住所 埼玉県朝霞市泉水
ホームページアドレス 2-8-21
<http://www.kyoeido.co.jp/>

集まれ! 趣味仲間

町内の生涯学習サークルの活動を紹介します。



町民俳句講座

生涯学習センター ☎028 (677) 0306

○活動日 毎月第2土曜日
13:30~16:30

○活動場所 町民会館

町民俳句講座は、芳賀町俳句会が前身で、ボランティア友の会の創立と同時にスタートしました。当初の会員は7人で、その後徐々に増え、現在は16人で活動しています。俳句を詠んで、日本の四季の素晴らしさ・日本語の豊かさ・日本で一番短い文学俳句の素晴らしさに感銘を受けながら日々研さんを積んでいます。

芳賀地方芸術祭・祖母井神社の川口益太郎記念俳句・結社の県俳句大会・全国俳句大会に参加し、いずれも好成績を収めています。

「万象俳句」の同人、小林馨が指導に当たり、全員努力研さんに余念がなく、楽しく学んでいますので、皆さんも一度見に来てください。

(文・小林 馨)